

日本福祉大学
対象学生およびご家族様

研究に関するご案内

2022 年度～2024 年度に作業療法評価学実習 I の講義と評価実習を完遂した学生とご家族様へ

今回、日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査を受けて、「評価実習成績と OSCE (Objective Structured Clinical Examination) との関連性」を実施することとなりました。それにともない、皆様が作業療法評価学実習 I で実施した OSCE の結果や評価実習の成績等を本研究で活用させていただくこととなりました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、上記のデータ等を本研究で活用することを希望しない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。また、本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせください。

2026 年 5 月 1 日

日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻 野口 貴弘 (のぐち たかひろ)

研究説明書

本研究は日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会の承認を受けて実施いたします。

【研究題目】

評価実習成績と OSCE (Objective Structured Clinical Examination) との関連性

【研究機関の名称及び研究責任者の氏名】

研究機関名：日本福祉大学

研究責任者の職名・氏名：助教・野口貴弘

研究協力者の職名・氏名：講師・田中将裕

共同実施機関名・責任者の氏名：なし

【研究目的及び意義】

客観的臨床能力試験 (objective structured clinical examination: 以下 OSCE) は、我が国の医学教育において導入されており、評価の妥当性や信頼性についても検討されているため、実施する養成校が徐々に増えてきています。また、学生の基本的態度や技能を評価するには有用であることが知られています。一方で実技試験である OSCE の結果が実習の成績とどのような関連があるかは不明な点が多いです。そこで本研究では、成績や知識試験、OSCE の結果が、臨床実習における評価にどのように関連するかを明らかにすることを目的とします。これにより現在の教育への改善点を明確にできるとともに、実習教育においてより効果的かつ意義のある学びを提供できることが期待されます。

【研究の方法及び期間】

本校の過去の記録より、対象学生の各種項目を後方視的に 2022 年度～2024 年度の過去 3 年に遡って収集いたします。本校の職員である研究責任者がシステム上のデータを抽出し、匿名化、データ管理をいたします。その後、研究責任者が収集したデータを分析いたします。抽出項目は、評価実習時成績および「作業療法評価学実習 I」の講義で行われる OSCE の結果、GPA、知識試験の結果となります。本研究は、後ろ向き観察研究であり、対象学生への侵襲や介入はございません。

分析は、対象欠損値や異常値を除外後、各変数の記述統計を算出し Pearson の相関分析により基礎的関連を検討します。さらに、従属変数を実習総合点、説明変数として GPA・OSCE・CBT を投入した重回帰分析を実施し、各要因の影響度を統計的に検証します。またサブ解析として、実習指導者の評価を倫理観・態度と臨床技能に分け、それぞれを従属変数として検証します。すべての分析は IBM® SPSS® ver29 という統計解析ソフトを用います。

【研究対象者から取得された試料・情報の利用目的】

取得する試料は、GPA、OSCE の点数、CBT の点数、評価実習の結果 (指導者の点数および実習総合点)、参加した実習の領域 (身体障領域害 or 精神障害領域) としています。取得させていただいた試料・

情報は統計学的に解析いたします。

取得した試料のみでは個人を特定できる情報は含まれません。また、試料は、二重錠錠ができる研究室（日本福祉大学半田キャンパス教育研究棟 1F 114 室）の鍵付きロッカー内に保存し管理します。試料は研究目的以外では用いられることはありません。結果について、専門学会での発表や専門学術雑誌へ発表されますが、個人が特定できる情報は含まれません。

【研究期間】

（研究期間は倫理委員会で承認された日）から 2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

【研究対象者に生じる負担ならびに予測されるリスク及び利益】

記録を用いた後方視的観察研究であり、対象者に直接発生しうる負担やリスクは生じないと考えます。

【研究協力の任意性と撤回の自由】

本研究は、後方視的観察研究であり、対象学生からの同意取得は行いません。しかしながら、対象者または代諾者に研究参加拒否の機会を設けるため、研究参加拒否の申し出があった対象学生のデータを削除し、破棄する手続きを取らせていただきます（オプトアウト）。また、研究参加拒否が学業成績や単位取得に対して影響を与えることはありません。

【研究に関する情報公開の方法】

希望された対象学生およびご家族には、口頭もしくは可視化したデータを開示ならびに結果を説明いたします。また、他の対象学生の個人情報保護および本研究の独創性の確保に支障のない範囲で研究計画書及び研究の方法に関する資料を口頭もしくは可視化したデータの開示をいたします。さらに、研究の結果は、本校の現在の教育への改善点を明確にできるとともに、実習教育においてより効果的かつ意義のある学びを提供することにおいて有用な情報となりえますので、解析結果を還元・提供いたします。

本研究の結果は、日本作業療法学会等での発表を予定いたします。また、論文は作業療法、日本医学教育学会誌などへの投稿を予定いたします。

【個人情報の保護の方法】

本研究で得られた個人情報およびデータは、個人が特定されないように符号化され、匿名化して保存されます。また、日本福祉大学にある鍵のかかる研究室に保存されるため、外部の人間がデータを閲覧することはありません。研究成果として匿名で発表されることは有り得ますが、個人を特定できる発表にはなりません。

【試料・情報の保管および廃棄の方法】

試料・資料は、研究終了の報告後 5 年、又は結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日を経過した後、すみやかに全ての資料・情報を廃棄いたします。また、本研究への参加拒否の申し出があった場合すみやかに試料・情報を廃棄いたします。

【研究の資金源および利益相反について】

本研究は公的研究費や基金等を使用しておらず、研究機関および研究者と他機関の間に利益相反はございません。また、対象学生およびご家族が費用を負担することはございません。

試料・情報の活用および共有・提供をしない場合等の連絡窓口

本研究への問い合わせ先

研究責任者 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻

助教 野口貴弘

〒475-0012 愛知県半田市東生見町 26-2

TEL/FAX (0569) 20-0111

メールアドレス noguchi-t@n-fukushi.ac.jp

【苦情・ご意見の申し出先】

日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会

メールアドレス rinri-soudan@ml.n-fukushi.ac.jp